

改善箇所説明図



ウォーターポンプにおいて、製造機械の保守管理が不適切なため、プーリーがシャフトに斜めに挿入されているものがある。そのため、使用過程でプーリーがシャフトからはずれ、異音が発生し、警告灯が点灯するおそれがある。

改善の内容

全車両、ウォーターポンプに刻印されているバーコードから製造日を確認し、該当製造日の場合はウォーターポンプを良品に交換する。

識別：運転者席側ドアロック・ストライカ付近に当該改善対策の識別ステッカを貼付する。